

兵庫県水産技術センターだより

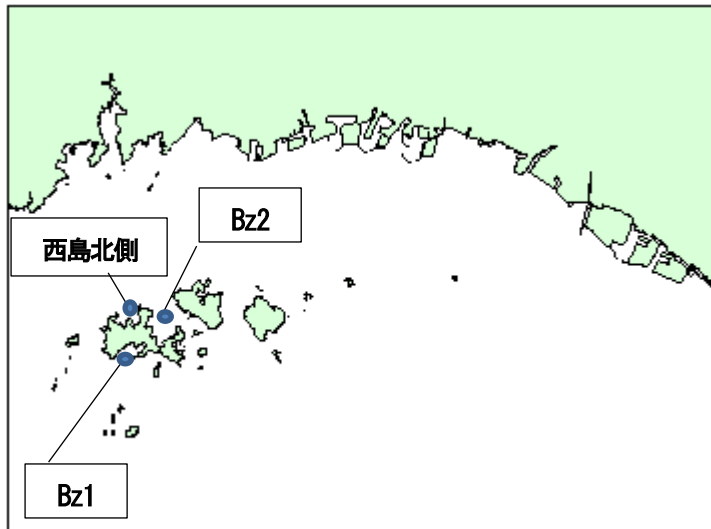
赤潮情報 AK-04-09 号 (播磨灘北部：臨時)

令和4年7月22日発行

7月21～22日に赤潮プランクトン調査（播磨灘北部：臨時調査）を実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・魚類を斃死させる有害赤潮プランクトン（カレニア・ミキモトイ、シャットネラ・アンティカ）が確認されました。
- ・小型珪藻のスケルトナマ、キートセロスが発生しています。
- ・赤潮の発生しやすい時期を迎えていますので、引き続き海況や海色の変化にご注意願います。



注意が必要な赤潮プランクトンの密度

シャットネラ・アンティカおよびマリーナの合計値

注意体制： 10 細胞/ml 警戒体制： 100 細胞/ml

カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ

注意体制： 500 細胞/ml 警戒体制： 5,000 細胞/ml

ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ

注意体制： 50 細胞/ml 警戒体制： 500 細胞/ml

赤潮プランクトン調査結果（海水1ミリットルあたりの細胞数）

調査地点	水深 (m)	ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	シャットネラ・アンティカおよびマリーナ	シャットネラ・オキータ	シャットネラ・グロボサ	シャットネラ・ベルキウロサ	クロロディウム・ポクリコイテス	ヘテロジマ・アガオ
Bz1 周辺	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0.7	0	0	0	0	0	0
Bz2 周辺	0	0	0	0.7	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	1.3	0	0	0
	10	0	0.7	0	0	0	0	0	0
西島北側	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0.7	0	0	0

※本調査は、JF 坊勢が採水した海水を、水産技術センターで検鏡調査したものです。

【今後の調査予定】 次回は7月25日に定期調査（播磨灘）を予定しています。調査結果がまとまり次第、「赤潮情報 AK-04-10号」として発行予定です。

§ お問い合わせ先 § 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター（担当：水産環境部 妹背、中桐）
Tel：078-941-8602 Fax：078-941-8604 Homepage：https://www.hyogo-suigi.jp/